

海津市まちづくり委員会「第5回安全・安心まちづくり検討分科会」会議録

開催年月日	平成23年6月24日(金)	
開催場所	海津市役所 海津庁舎 委員会室	
分科会委員定数	17名	
開 会	午後1時30分	
閉 会	午後4時	
出席者	○分科会委員	
	公募市民	白井春幸
	南濃北部地区防犯パトロール隊顧問	藤田良博
	海津地区防犯協会副会長	牧野光子
	海津市自治連合会代表	宮脇信幸
	海津市更生保護女性会代表	中島雅子
	高須生活学校代表	加藤佳余子
	総務課	神田勝広(代理 伊藤俊二)
	福祉総務課	浅野貴康
	学校教育課	宇佐美伸幸
	海津警察署 生活安全課長	有井隆
	岐阜経済大学教授	菊本舞
	○事務局 企画部 部長	伊藤恵二
	企画政策課 課長	中島哲之
	" 係長	徳永宗哲
	" 主任	毛利卓司
	" 主任	二俣真琴
	ファシリテーター	伊藤祥子
	"	石井徹郎
欠席者	NPO法人 海津おやじの会	樋口幸二
	公募市民	大倉金次
	NPO法人 セーフティポートコミュニティ平田	丹羽公成
	消防課	戸島正
	海津地区交通安全協会長	堀田行雄
	海津市社会福祉協議会	水谷英基

会議次第	1. あいさつ
	2. 所属団体の紹介
	3. これまでの分科会の経緯について
	4. ワークショップ
	5. 講評
	6. 閉会

会議録（要約）

事務局	<p>みなさんこんにちは。</p> <p>これより、海津市まちづくり委員会「第5回安全・安心まちづくり検討分科会」を開催させていただきます。</p> <p>年度が変わり委員のメンバーが異動等により変更しております。</p> <p>まず初めに昨年まで当分科会の委員をお願いしておりました、岐阜経済大学の鈴木誠教授がご退官され、新たに菊本舞准教授に就任していただきました。</p> <p>また同じく委員の海津警察署の生活安全課長の木澤様が異動され、新たに有井隆課長に就任していただきました。</p> <p>このほか市役所の委員の4名が異動で新たに就任していただきました。</p> <p>会に先立ちまして、宮脇分科会長より一言ご挨拶をお願いします。</p>
会長	<p>（会長あいさつ）</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは本日の司会を、海津市まちづくり委員会要綱の規定により、宮脇分科会長をお願いいたします。よろしくをお願いします。</p>
会長	<p>事務局から説明がありましたとおり、私が司会とのことですので、皆様のご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは次第に基づき進めさせていただきます。</p> <p>ここで本日の案内にもありましたとおり、所属団体の防犯に関する活動について2～3分程度でご紹介をお願いいたします。</p> <p>お手元にあります名簿順をお願いいたします。</p>
委員	<p>（各委員紹介）</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではこれまでの分科会の経緯について菊本准教授からお話をいただきます。</p> <p>よろしくをお願いいたします。</p>
菊本准教授	<p>（これまでの分科会の経緯について説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それではこれから2班に分かれましてワークショップを行いますのでよろしくをお願いします。</p>
事務局	<p>それではここでファシリテーターの紹介をさせていただきます。</p>
ファシリテーター	<p>（各ファシリテーター自己紹介）</p>
菊本准教授	<p>では事前にご案内をしてあると思いますが、「地域防犯の現状と課題」について、現</p>

	<p>在取組んでおられる内容を書き出して頂き、その中にどんな課題があるかを上げていただきたいということです。</p> <p>例えばそれぞれの皆さんが所属団体の紹介の時にあげていただいた内容や、各団体とどんな連携が取られているのか、どんな情報共有をされているのかということ。そして日頃それぞれの団体に認識されているような危険か所に対して、どんな対応をされているのかという現状を書いていただきます。</p> <p>そして課題として、生活者として地域の安全を確保していく上では課題となっていること、現状に照らして解決すべき課題を明らかにしていきます。</p> <p>それでははじめてください。</p> <p>(ワークショップ)</p>
事務局	<p>ワークショップはこれまでとします。</p> <p>それでは発表をA班から始めてください。</p>
A班	<p>【A班】</p> <p>先ほど先生からお話のあった、交通安全と防犯とを組み合わせているところから出てきた意見です。それから抽象的課題と具体的対策です。</p> <p>交通安全と防犯では、防犯カメラを設置したらや、各家に防犯カメラがあるといいなど。それから下校時の挨拶や見守り。主要道路に街路灯が少ない。暗い場所があるからもっと街路灯をつけたらどうだろうかというようなこと。これは防犯と交通安全の両方に重なる課題だろうと思います。</p> <p>それから抽象的課題というのは、情報モラルについての学習。犯罪から守る、犯罪に係らせない教育。それから町外からの来町者が多い、これはお千代保稲荷などを想定しているものと思います。子供の屋外活動が少ない、これは少子化を含めた形での意見だと思います。一番抽象的なのは、自分に被害がないと防犯に対する意識がない、ということ。</p> <p>具体的対策としては、緊急時メール配信システムを使っての情報の共有化。危険な場所の巡回、点検等。ということです。</p> <p>このような形で3つに分けました。以上でございます。</p>
B班	<p>【B班】</p> <p>それでは地域防犯の現状と課題としまして、先ほど所属団体紹介であったように現状について子ども、街頭指導、設備・環境、家庭について書きました。</p> <p>それに基づく課題が設備、組織、情報、教育となりました。</p> <p>現状は、子どもについては学童見守り隊、子ども110番との連携、小中学校のあいさつ運動などがありました。街頭指導は市の交通安全指導員による巡回指導、地域による青パト車両の巡回などがありました。設備・環境は、防犯灯の設置や地域によって駅前美化運動、広報無線と市報による周知がありました。家庭では、DVからの保護をすすめています。</p> <p>それらに対する課題として設備・環境の中では防犯灯を増やしてほしいとありますが、予算が限られていますし、球切れなどの修繕が増えてきております。地域的に県境でありいろんな犯罪も増えてきています。</p>

	<p>組織としては地域的に県外移住者があることから、よそ者に冷たいという声がありました。地区によって先ほどの青色パトロールをやっているところと全く知らないところがあって、熱意に地域差があります。</p> <p>情報としては、この会を含めて、いろんな団体がいろんな委員を委嘱や任命されておりますが、委員さん同士の連携がなかなかないので、どの団体がどんな活動をしているのかなかなかわからない。各団体で活動が重複していることがわかりました。</p> <p>教育としましては、防犯教育の充実や防犯防災の意識の不足がありました。以上です。</p>
菊本准教授	発表が終わりましたので、ここで互いの意見で質問とかありませんか。
A委員	お互いの意見に、特に危険な個所とか出てこなかったと思うのですが、そういうのはなかったですか。いま私たちが住んでいて、どこが一番危険を感じているというのがなかったと思うのですが、そんなところがあったら教えていただきたいのですが。
ファシリテーター	<p>最近空き家が目立ってきました。私どもの住んでいる近くで起こったことですが、ホームレスがその空き家に入っていたということがありました。これからそういう問題が増えてくるのではないかなと考えられます。まだ私の知る限りでは1件だけですが、心配しています。</p> <p>特に大きい建物で雇用促進住宅があります。あれは全部空き家です。</p>
A委員	簡単に侵入できますか。
B委員	1階だけは侵入できないようにしてあります。
C委員	被災者を入居させてはどうか。
A委員	<p>そういう話もありましたが、老朽化とか危険性が伴うから、簡単に入っただけようにはできないというお話もありましたよ。</p> <p>それはホームレスだけですか、例えば中高生、不良少年とかそういう人ではないですか。</p>
ファシリテーター	それは今後そういう可能性もありますね。空き家が増えていきますから。市内でも大きな農家が空き家になっています。だから心配ですね。
A委員	ありがとうございました。
菊本准教授	他にご意見とかないですか。
会 長	B班は、防犯カメラについてはなかったですか。
B委員	防犯灯だけです。

A委員	そうそうそれとか街路灯とですね。
C委員	防犯カメラだと車上狙いに有効かもしれない。だけど個人で防犯カメラだと難しいかもしれない。
A委員	難しいというより個人でつけているところはあるのでしょうか。
有井課長	個人でつけているところもあるようです。
A委員	どれくらいありますか。
有井課長	私が知っているところでは1軒です。なぜ知っているかというと事件で取り扱ったからです。
A委員	捕まりましたか。
有井課長	捕まえましたし、一番いいのは、そういう目に見える証拠になりますので。
C委員	人の集まる場所は防犯カメラとか必要ですね。
会 長	犯罪捜査をするうえでは便利なものですね。完全に人を特定できますからね。
C委員	今コンビニだとほとんどつけていますね。
会 長	大垣の北口にアクアウォークというのがありますが、あそこは防犯カメラが多いですね。トイレにもありますから。
C委員	5万人以上の町ではいろんなところについているが、海津市では無理だな。せめて公共施設とか海津温泉とかつけるといいが、海津市はお金ないよね。
事 務 局	エコドームにはついていません。
ファシリテーター	南濃町のビオトープで魚を頻繁に盗られることがあって、電池式の人感センサー付きカメラを設置したら人が写っていました。
C委員	被害があったらリースして置くのもいいかな。
ファシリテーター	その前にダミーカメラも売っていますから。
C委員	それなら不法投棄も多いから、ダミーでもつけてくれるとありがたいけどなあ。
ファシリテーター	カメラを盗んでいくのもいますから。

会 長	<p>そういうのもいますか。</p> <p>防犯に対して意識していますよとなると抑止にはなりますね。</p> <p>よく犯罪が起きると、どこからどこまでは防犯カメラで写して、人の動きが連続してわかるようになっていて、それはすごいなと思う。</p> <p>そういのが整備されれば検挙率が上がるし、検挙率が上がればやらないようになるのですね。</p>
有井課長	<p>そういうことを新聞やテレビなどで、防犯カメラをつけていますよ、となると、泥棒も新聞やテレビなどを見ているから、海津では捕まるな、ということになります。</p>
A委員	<p>ここに出てきたことが市民に広まらないことが残念なことから、全ての市民が防犯意識を持てば犯罪の抑止になりますよ。</p>
会 長	<p>情報を共有しなければいけない。</p>
A委員	<p>この会議だけで貴重な時間を割いて、これだけの結果が出ましたが、これを何とかして地元へ持ち帰って、所属団体の役員会や総会でこういう話をしたいなと思いました。</p>
会 長	<p>すぐ社会を明るくする運動がありますから、明るくなる話だからそのときにやって下さいよ。</p>
A委員	<p>時間作りますから会長さんから言ってくださいよ。</p>
C委員	<p>明るくなる話だから、街路灯を今海津市は50m・100m間隔でどういう基準でつけているかわからんけど。</p>
会 長	<p>旧海津町は主要道路のほとんどつけていますよ。</p>
B委員	<p>南濃町に太陽光発電の街路灯が付いていて、電気の交換をするのに5万とか15万とかかかるそうです。1本つけるのに100万位かかる。</p>
事 務 局	<p>他に意見質問はないですか。</p> <p>ないようでしたら菊本准教授から講評をお願いします。</p>
菊本准教授	<p>本日はありがとうございました。</p> <p>今日はテーマを区切ってお話を頂いたわけですが、実はこの中には書かれていない部分もあって、お話を伺っていますと書ききれていない部分に重要なご指摘があったと思います。</p> <p>A班にあったお話ですが、子どもさんに向けて活動されていることですが、一方は小学校の校門の前に立って小学生に挨拶を地域の皆にしようねと、「おはようございます」と活動をしている、もう一方で連れ去り事案や声掛け事案を防ぐために、「知らない人には声かけられてもついて行ってはダメだよ、挨拶を返してはダメだよ」という</p>

ことを教えている。

そうすると子どもたちは非常に困って誰に挨拶をしていいのか、誰にはついて行っていいのか、実は子どもたちは混乱しています。

子どもは、大学生になってもこれをずっと引きずっていきまして、知らない人には挨拶をせず、知っている人には、にこにこ挨拶をすることがあります。それを社会人になっても引きずり、会社で新入社員に困っていることは、昨今の新入社員は、まず知らない人に対して挨拶をしない。同じ会社の人にはきちんと挨拶ができるのに、外から来た大事なお客様がみえた時に挨拶ができない。そういう新入社員が増えてきている。

未来の人材を輩出することを地域で作っていくことを考えたときに、私たちはテーマとしては防犯にここで取り組んでいるわけですが、そういった世代に渡って繋がっていく、そういった事のかかわり方を地域で活動しているということは、この防犯を考えたときに非常に重要なことになっていくのではないかと考えています。

今日ご指摘いただいた中で特に重要と思うことは、当事者意識という問題ですね。

そちらグループで、犯罪の当事者にならないと、犯罪に対する防犯意識などがなかなか高まらないというお話がありました。

私たちは防犯に取り組む中で、当事者意識ということをどのように作っていけるかということが、この提案書を作っていく中で、皆さんは、すでにさまざまな形で防犯に取り組んでいらっしゃる方なので、いろんな危険個所の認識ですとか、こういった事案があったとすでにご存知な方ばかりが今日は出席されています。

先ほど中島さんからお話がありました、せっかくこういうところでいろんな意見が出ていますが、それを一般の市民の方になかなか共有できない。それをどういう風に共有できるのか、そういう仕組みをこれから考えていかななくてはならないと思います。

今日は発表があってから割と長く意見交換の時間を頂きましたけども、そちらのグループですね、委員同士でも同じようなことをやっていて、それが重なっていても連携が取れていなかったりとか、お互い団体同士どんなことをやられているとか、意外と委員同士知らなかったりと今日はお話がありました。そういったすでに取り組まれている関係の中で、これから効率的にどのように関係を作っていくって、すでに同じようなことをやっているのであれば、相乗的に何かより大きな取組みに変えていけるものがあるのか、そういう発展的なことも今後検討する内容としてはかかわっていくのかなと思います。

次回もよろしくお願ひします。お疲れ様でした。

事務局

次回は7月15日（金）午後1時30分から開催します。

会長

皆さんご苦勞様でございました。

菊本准教授をお迎えして初めての会ですが、これからもより良いものとしましよう。ありがとうございました。